

災害への備え(気象庁)

家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- ・窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- ・側溝や排水溝は掃除して水はけを良くしておく。
- ・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する。



家の中の備え

・非常用品の確認

懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、ボンベ式コンロ、貴重品など



・室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに張ったり、万が一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

・水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

避難場所の確認

- ・学校や公民館など避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく。
- ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく。
- ・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしておく。



不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない

- ・雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくくなり、転落事故が発生します。また山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなります。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、危険な場所へはむやみに近づかないようにしましょう。
- ・台風が接近し暴風になると、風により物が飛ばされたり、飛んできた物にぶつかったり車が転倒したりする恐れがあります。また、風に煽られてドアや扉に手や指を挟まれるなどの被害も発生します。不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、海上や海岸付近では台風接近前から波が高くなり、台風が通過した後もしばらくは波が高いことが多いです。台風接近時は海上や海岸付近に高波を見に行くなど危険な行為をする事はやめましょう。

